

令和4年度最適化活動の目標の設定等(案)

都道府県名： 愛媛県
農業委員会名： 松野町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和4 年 4 月 1 日

任期満了年月日 令和7 年 3 月 31 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	13	13
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	6	6	3

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	424	基幹的農業従事者数	265	認定農業者	28
農業経営体数	272	女性	78	基本構想水準到達者	1
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	17	認定新規就農者	2
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	5
				集落営農経営	0
				特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	346	143	143	0	0	489

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	489	ha	116	ha	23.72	%
課題	集積する担い手となる認定農業者等の高齢化が急速に進行している。さらに、町内全域において有害鳥獣被害対策が必須となっており、規模拡大も容易に行えない状態にある。新規参入者の確保・育成や、人・農地プラン等を活用した一団の農地の活用計画を地域で検討していく事が必要不可欠となっている。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和5	年度	集積率	69	%
今年度の新規集積面積	80	ha	農地面積(C)	489	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	200	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	40.9	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
		12.4 ha	12.4 ha
課題	農業者の高齢化により遊休農地が増加しており、特に山間部においてその傾向が顕著である。また、遊休農地の多くは未相続農地であり、利用権設定等の土地活用が円滑でないことも課題となっている。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	12.4	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.48	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
--------------------------	-----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	—
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.7	ha
---------------------------	-----	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者		令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	2	経営体
	0.0	ha	0.0	ha	2.89	ha
課題	全国的にも営農者の過疎・高齢化は進行しているが、中山間地域である当町においてはその傾向はさらに激しく、新規参入者の確保が困難である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	16 ha	32 ha	16 ha	21 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	2.1 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	13 人
		農地利用最適化推進委員の人数	6 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3 回
取組時期	取組項目	強化月間の内容
10月	遊休農地の解消	遊休農地所有者や、今後遊休農地になると見込まれる農地の所有者等に対しての意向調査を重点的に実施する。
11月	遊休農地の解消	遊休農地所有者や、今後遊休農地になると見込まれる農地の所有者等に対しての意向調査を重点的に実施する。
3月	農地の集積	町農林振興課が主催する人・農地プラン検討会に参加し、地域の農地の将来方針について協議する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		2回	
開催時期	8月	相談会名	えひめ農林漁業合同就業相談会
参加者数	1名	開催場所	松山市
相談会の内容	新規就農等に関する個別相談会		
開催時期	11月	相談会名	えひめ農林漁業合同就業相談会
参加者数	1名	開催場所	松山市
相談会の内容	新規就農等に関する個別相談会		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)